

平成30年度 地域ケアプラザ事業実績評価

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
上飯田 地域ケアプラザ	社会福祉法人 公正会	A	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連団体や関係機関の行事などに積極的に参加し、良好な関係を築くことができています。 ・子育て世帯や男性を対象とした企画・講座にも力を入れており、新しい活動へつなげた事例もあるなど、評価できます。 ・法人のホームページが新しくなり、より見やすくなりました。それに伴い、今後のさらなる更新の増加とタイムリーな情報の提供に期待します。 <p>(生活支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動困難者支援の取組については、送迎先や送迎に協力する社会福祉法人も増え、取組が広がっています。 ・地域資源マップの作成に着手しており、完成後には自治会館や地区センター等に張り出すほか、ケアマネジャーとの共有も検討しています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターに来所しにくいエリアにて住民相談会や出張相談会を定期的に行い、地域の情報提供や民生委員との個別カンファを行う等必要に応じた支援や関係づくりが行われていました。
下和泉 地域ケアプラザ	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	S	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の関連団体、関係機関の会議や地域防災拠点運営委員会等、多種多様な活動へ参加し、顔の見える関係作りを積極的に行っており、評価できます。 ・高齢、子育て、障害、地域関係と多様な分野の事業展開ができており、具体的な数値目標も達成することができています。 ・男性を中心とした講座や子育て関係の講座では多数の参加者を集め、高齢者だけでなく、多様な世代を考慮した事業が実施できてい

			<p>ます。</p> <p>(生活支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 職種での情報共有やそれぞれの役割を意識しながら連携を取ることができており、包括職員の受けた相談からの分析、サロン等に訪問した際の聞き取り等も合わせて、地域ニーズの把握・分析に努めています。 ・ 目的ごとに複数の協議体を実施できており、地域の中で課題解決に向けた話し合いの場を創出できています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サロンごとのニーズに応じて、5 職種でフレキシブルに出席し、地域のニーズに対応する姿勢が見られました。 ・ 介護予防事業について、男性の社会参加を促すための講座を開催しました。また、講座参加者と既存のグループの顔つなぎを行いました。
<p>踊場 地域ケアプラザ</p>	<p>社会福祉法人 神奈川県匡済会</p>	<p>A</p>	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中田地区及びしらゆり地区における関係団体と連携を密にし、良好な関係を築いています。 ・ 高齢者・こども・障害の各分野において、適宜見直しを行いながら地域のニーズに合わせた様々な事業を展開しています。 ・ 福祉保健活動団体以外の団体に対する貸室の目的外利用も積極的に行い、利用率の向上につなげています。 <p>(生活支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度に生活支援コーディネーターの交代がありましたが、積極的に地域に足を運び着実に関係性を構築してきています。 ・ 食事会の送迎活動が開始され、送迎の中で見えた課題解決に向けて、地域住民とも意見交換ができており、送迎活動の拡充に向けた検討も進められています。

			<p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 踊場独自のケアマネ連絡会が今年度計5回実施されています。 ・ 地域関係者や事業者等と協力した介護予防イベントを経年的に実施できており、地域に浸透してきています。
いずみ中央 地域ケアプラザ	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	S	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会町内会をはじめ、高齢・子育て・障害の各分野の団体の会議・事業に積極的に参加し、良好な関係を築いています。 ・ 今年度は商店や金融機関等の地域資源との連携に特に力を入れて取り組み、連携先に講座のチラシを配架するなど地域への情報提供を積極的に行っています。 ・ 多世代交流を目的とした事業を多く実施し、これまでケアプラザを利用することが少なかった中学生や高校生などを含む幅広い年代層に利用されるようになってきたことが窺えます。 <p>(生活支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6職種会議では、それぞれの活動や地域ニーズなどの情報が共有されており、事業実施の際には職種間での連携が自然にできています。 ・ 区の共通課題である移動困難者支援について、地域ケア会議等でニーズ把握に努め、車両を使わない付添型の移動支援の検討を進めています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地図に重ねられるシートに「相談」「支援につながらなかったケース」「認知症の相談」「ベンチのあるところ」等をテーマ別にシールで落とし込み、「見える化シート」として整理をしています。 ・ エリア内の各種店舗等に対する地域包括支援センターのPRも充実しています。
新橋 地域ケアプラザ	社会福祉法人 開く会	A	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つのエリアの会議等へ分担しながら積極的

			<p>に参加し、適切な情報収集と情報提供ができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主企画事業では、事業のコストパフォーマンスの検証も行われており、前年踏襲ではない事業運営は評価できます。 ・ブログ、広報誌、チラシなど、様々なツールで適切な情報発信を行うことができています。ボランティア発掘につなげるなど成果も出ており、今後も継続してください。 <p>(生活支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度途中で生活支援コーディネーターの入れ替わりがあり、事業の継続に困難を抱えながらも、所長をはじめとして他の職種の協力を得ながら事業を進めることができました。 ・地域のサロン等に訪問した際には地域資源調査書に記録を残しており、資源情報の整理がされています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター内の人員体制が整わない中で、個別ケース対応では一人ひとりに迅速丁寧に向き合われていました。 ・中川地区認知症サポート連絡会開催について、切れ目なく支援されていました。認知症サポーターの活動支援として、モデルとなるような取組と思われます。
<p>いずみ野 地域ケアプラザ</p>	<p>社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会</p>	<p>A</p>	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の関連団体の会議や行事、地域のイベント等に積極的に参加し、情報を共有するとともに、良好な関係づくりができています。 ・地域の実情やニーズに合わせて、「子育て世代」「男性」「成年期の障害者」「仕事帰りの方々」など様々な層を対象とした自主事業を展開しています。 <p>(生活支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の会議には6職種の中で出られる人が交代で出席しており、結果も全体で共有できています。

		<ul style="list-style-type: none"> ・単位町内会ごとにアセスメントシートが作成されており、接触ができていないマンションの自治会など、町内会ごとに関わりの濃淡も整理されています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成した認知症サポーターがより認知症の理解が深められるようスキルアップ講座を実施するなど、新たな取り組みも行っています。 ・地域の金融機関からの相談で個別支援に繋がったケースがあり、連携が取れていると伺えます。
--	--	--

※評価の基準は区によって異なります。

【評価の考え方】

評価	内容
S	・特筆すべき実績・成果が認められ、事業の実績が優良な施設
A	・事業の実績が良好であった施設
B	・改善の必要性が多数認められ、事業の実績が良好でない施設